

平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	グローバルグリーン成長研究所拠出金 (任意拠出金)		担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定)年度	平成22年度開始		担当課室	気候変動課		課長 加納 雄大		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ－3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、 通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	発展と環境の持続可能性の調和を可能とするグリーン成長モデルの体系的理論構築を行い、同モデルの途上国をはじめとしたグローバル展開を行うグローバルグリーン成長研究所への拠出。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	途上国におけるグリーン成長計画の策定支援や本研究所理事会の運営に参画することを通じて、低炭素社会の構築に向けた協力を進める。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算			94			
		繰越し等			94			
		計			94			
		執行額			94			
	執行率(%)			100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	グリーン成長モデルの体系的理論構築及びその展開。(我が国が主張する東アジア低炭素成長パートナーシップ構想及びアフリカ低炭素政長・持続可能な開発戦略に計70か国が賛同)		成果実績				70/193	
			達成度	%			36.2	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	以下の活動を平成22年度より開始予定。 ・インドネシア、ブラジル等においてワークショップを開催する等の活動を実施 ・グリーン成長に関するシンポジウムの実施		活動実績 (当初見込み)				シンポジウム1回 1	— 1
単位当たり コスト	134.3万円／国		算出根拠	執行額÷東アジア低炭素成長パートナーシップ構想及びアフリカ低炭素政長・持続可能な開発戦略賛同国数				
平成23・24年度 予算内訳 (単位:千円)	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	グローバルグリーン成長研究所は、インドネシア、ブラジルを始めとした途上国における様々な事業や本部を置く韓国で終えCDと共催により大規模なグリーン成長に関するシンポジウムを開催する等、積極的な事業展開を行っているが、それぞれ大きな成果を上げており、世界の注目を集めているグリーン成長モデルの途上国を中心とした展開に向け、順調に取り組を進めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
－		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			